

## ロードマップ あなたのビジネスをもっとエコにする

表面処理業界をより環境に配慮したものにするには、誰もが自分たちの貢献を自覚して初めて実現できることです。これは、生産者とエンドユーザーの双方に当てはまります。ヘンダーは、ケミカルポンプとフィルターメーカーとしての責任を自覚し、業界内の意識を高めていきたいと考えています。そうすることで、次の世代に長くバトンを渡すことができるのです。

ヘンダーは、HE-filterの発売により、新世代のポンプとfilterを市場に投入し、業界のグリーン化に貢献しています。しかし、私たちは、この製品が必要とされる大きな変化の一部に過ぎないことを知っています。私たちは、より広い視野で物事を考える必要があるのです。そして何より、私たちは業界全体としてこの問題に取り組む必要があるのです。

以下のロードマップでは、ヘンダーが、より持続可能な代替品に置き換えることができる生産工程のいくつかの側面についてビジョンを語っています。私たちは、同僚やお客さまが必要な変化の一部となるよう、鼓舞することを望んでいます。

サステナブルビジネス  
プロセスの要素

原材料・部品

廃棄物

エネルギー消費量

出荷

デジタル化

旅行

## 原材料・部品

を選択します。高品質な原材料は、往々にして仕入れコストが高くなる。しかし、これは短期的な視野からの理由付けである。高品質の原材料を使えば、より良い、より信頼性の高い、より耐用年数の長い製品を生産することができる。その結果、最終的なユーザー負担は少なくなる。

持続可能な購買を行うことで、長期的に見れば必要な原材料の量が少なくなるため、原材料の消費量はかなり少なくなります。主に部品を扱う機械メーカーにとって、調達プロセスにおける選択も同じように考えることが重要です。多くの部品は、直接交換するのではなく、再利用することができる。このことを念頭に置くことで、購入する部品の数、つまり原材料の数が減り、無駄が省ける。

部品に関して言えば、製造会社や機械メーカーは、より少ない種類の部品で構成される革新的な設計に取り組むことで、多くの利益を得ることができます。全体として、交換部品が少なければ、必要な原材料も少なくて済みます。さらに、製品の性能を向上させることもできます。例えば、新しいHE-filterを設計する際、ヘンダーはより少ない部品で同じ高品質のfilterを実現することを考えました。スマートな設計により、流量は26%も増加しました。

*ヒント: 原材料や部品の消費量をすでに考慮し、お客様の問題に適切なソリューションを提供できる、知識の豊富なパートナーをお選びください。*



## 廃棄物の削減

製造業は現在、リサイクルと循環型社会に大きな関心を寄せています。これらは、主に廃棄物の発生を抑え、最終的には原材料の消費を減らすためのプロセスです。このようなプロセスに参加する場合、考え方が最も重要です。社内のあらゆる廃棄物の発生状況を把握するために、意欲と時間を投資しなければなりません。この明確な概要に基づけば、最も効果的な変更を行うことが容易になります。

廃棄物の生産は、生産プロセス以外の間接的な要因や関係者が絡んでいることが多い。そのため、意思決定が複雑になることがあります。高品質の原材料に投資する場合、製品の販売価格を上げなければならなくなることもあります。企業は、顧客を遠ざけることを恐れて、そのような決断から離れようとしています。しかし、意思決定について透明性を保ち、特に変化の重要性を強調することで、実際に他の人がサポートし、自分も参加するようになるのです。

**ヒント：社内で原材料の再利用やその他の循環型社会の可能性を調査してください。**



## エネルギー消費量

サステナビリティのもう一つの重要な側面は、エネルギーです。照明、機械、エネルギーネットワークに接続された電化製品など、企業が日常的に消費するすべてのエネルギーがこれにあたります。このエネルギー消費を抑えるには、さまざまな方法があります。単純に電源を切るのもひとつの方法ですが、その都度起動するためにエネルギーコストがかかることがあります。より良い代替案は、消費エネルギーが少ない製品や消費エネルギーを提供する製品を使用することで、エネルギーを節約する形態です。例えば、ソーラーパネル、LED照明といったIE3認証製品などがあります。

*ヒント：自社のエネルギー消費量をマップ化し、節約の選択肢を検討する。*

## ビジネス習慣

現在のビジネスのやり方では、環境に影響を与える多くの習慣が発達しています。しかし、その具体的な影響については、あまり考慮されていないことが多いようです。私たちは、ほんの少しの変化で大きな変化をもたらすことができると考えています。

第一の変化は、出荷製品の節約と組み合わせです。多くの企業では、できるだけ早く納品しなければならないというプレッシャーがあります。それは理解できるのですが、そのために短期間にいくつもの小さな荷物を送ることが多くなっています。小さな荷物をまとめて大きな荷物として送れば、環境への負荷は抑えられる。お客様の理解は、プロセスを説明するだけでも得られる。これは、透明性とオープンなコミュニケーションを必要とします。

次の変化は、デジタルの世界をより受け入れることです。デジタル化は、持続可能性という点で大きな利点があります。販促物やパンフレットに使う紙の消費量を大幅に削減することができます。また、企業にとっても、あらゆる業界でオンラインビジネスの重要性が高まっているため、多くの収穫が期待できます。しかし、それには発想の転換が必要です。

デジタル化のもう一つの利点は、会議のために必ずしも移動する必要がないことです。様々なビデオ通話プログラムを使って、お互いの距離に関係なく、会議を行うことができます。このように、デジタル化が進めば、移動の手間を極力省くことができます。その結果、CO2排出量を減らすことができます。

さらに、交通手段は商談のための移動だけではありません。それは通勤から始まるのです。最近では、従業員が車を自宅に置くことを奨励する企業も増えています。そうすることで、環境負荷に対する社員の意識を高めることができます。その結果、企業は従業員に支持される改革を行いやすくなるのです。





サステナビリティを実現するために、社員ができることはさまざまです。例えば、ゴミの分別。これもみんなであれば、より大きな効果が得られます。

*ヒント: 自社のビジネス習慣を考え、その必要性を評価する。*

サステナビリティで最も重要なことは、私たちが互いに学び、刺激し続けることです。ヘンダーは、最新の動向を把握するために、市場の近くにいることを好みます。

さらに、サステナビリティなどの重要なテーマについて、お客様や業界の方々と議論していきたいと考えています  
の同僚たちです。

そのため、皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。メールでのお問い合わせはもちろん、LinkedInの投稿にコメントいただいても結構です。

私たちは、この業界をより持続可能なものにするために、皆さんと協力する用意があります。そのために、私たちは  
この先もずっと、私たちのレガシーであり続けます。



[info@hendor-pe.co.jp](mailto:info@hendor-pe.co.jp)



[www.hendor-pe.co.jp](http://www.hendor-pe.co.jp)



[/company/hendor](https://www.linkedin.com/company/hendor)